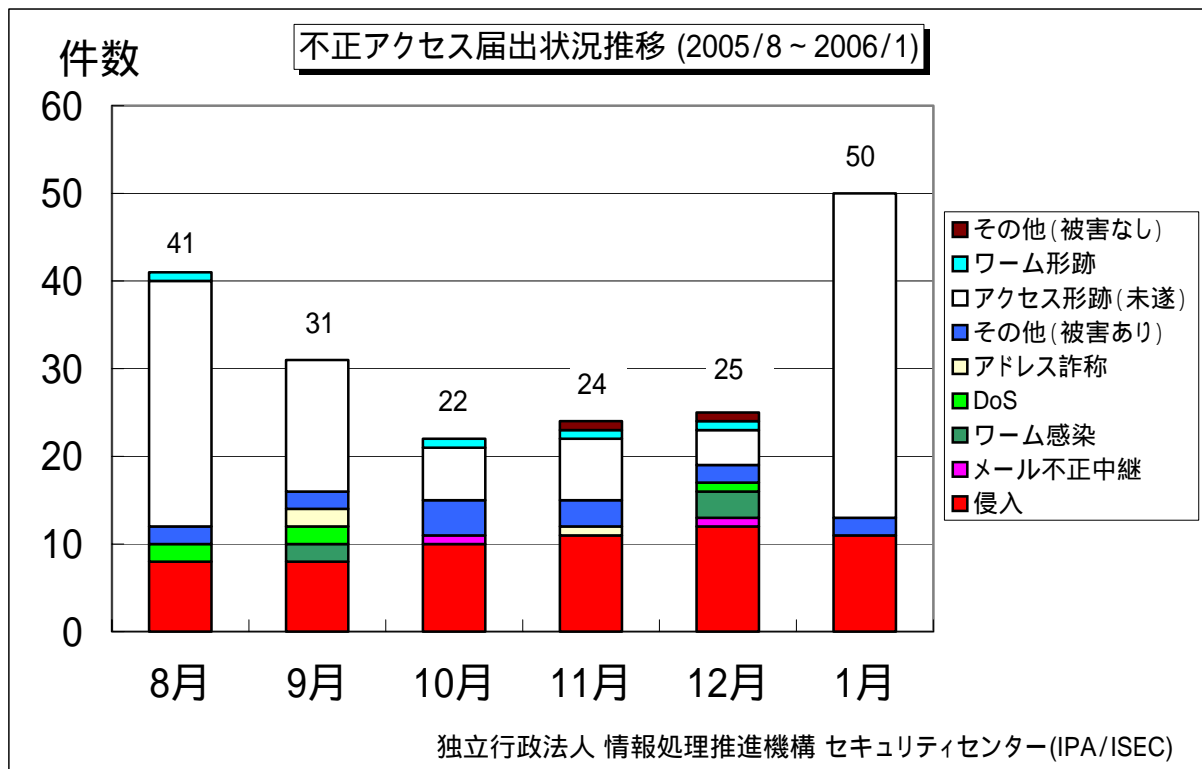


## コンピュータ不正アクセスの届出状況 [2006年1月分] について

### 1. 不正アクセス届出の詳細

#### (1) 不正アクセス届出件数の月別推移



#### (2) 不正アクセス届出種別の月別推移

届出種別	8月	9月	10月	11月	12月	1月
侵入	8	8	10	11	12	11
メール不正中継	0	0	1	0	1	0
ワーム感染	0	2	0	0	3	0
DoS	2	2	0	0	1	0
アドレス詐称	0	2	0	1	0	0
その他(被害あり)	2	2	4	3	2	2
アクセス形跡(未遂)	28	15	6	7	4	37
ワーム形跡	1	0	1	1	1	0
その他(被害なし)	0	0	0	1	1	0
合計(件)	41	31	22	24	25	50

注) 網掛け部分は、被害があった届出種別を示しています。

### (3) 届出者別件数

個人ユーザからの届出が76%と、大多数を占めています。

注)割合の数字は小数点第二位を四捨五入していますので、合計が100%ちょうどにならない場合があります。

原因	届出件数					
	2006年1月		2005年12月(前月)		2005年1月(前年同月)	
一般法人ユーザ	8	16.0%	10	40.0%	5	16.1%
個人ユーザ	38	76.0%	0	0.0%	22	71.0%
教育・研究機関	4	8.0%	15	60.0%	4	12.9%
合計(件)	50		25		31	

### (4) 被害原因別件数

1月に届出されたうち被害のあったもの13件について、原因の内訳は、ID・パスワード管理不備が4件、古いバージョン使用・パッチ未導入が5件、などでした。

原因	届出件数					
	2006年1月		2005年12月(前月)		2005年1月(前年同月)	
ID・パスワード管理不備	4	30.8%	6	31.6%	3	33.3%
古いバージョン使用・パッチ未導入	5	38.5%	3	15.8%	1	11.1%
設定不備	0	0.0%	2	10.5%	2	22.2%
不明	3	23.1%	6	31.6%	2	22.2%
その他(DoSなど)	1	7.7%	2	10.5%	1	11.1%
合計(件)	13		19		9	

注)割合の数字は小数点第二位を四捨五入していますので、合計が100%ちょうどにならない場合があります。

## 2.1月に掲載した脆弱性情報

1月にIPAにて掲載した、脆弱性に関連する他組織からのお知らせです。

#### Microsoft

- ・ Graphics Rendering Engine の脆弱性によりコードが実行される可能性:更新
- ・ Windows の埋め込み Web フォントの脆弱性 (MS06-002)
- ・ TNEF デコードの脆弱性 (MS06-003)

#### Oracle

- ・ Oracle 社製品のセキュリティアップデート

詳細は以下の URL を参照してください。

「脆弱性関連情報 2006年1月分」

<http://www.ipa.go.jp/security/news/news0601.html>

### ・コンピュータ不正アクセス被害の届出制度について

コンピュータ不正アクセス被害の届出制度は、経済産業省のコンピュータ不正アクセス対策基準に基づき、'96年8月にスタートした制度であり、同基準において、コンピュータ不正アクセスの被害を受けた者は、被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報をIPAに届け出ることとされています。

IPAでは、個別に届出者への対応を行っていますが、同時に受理した届出等を基に、コンピュータ不正アクセス対策を検討しています。また受理した届出は、届出者のプライバシーを侵害することがないように配慮した上で、被害等の状況を分析し、検討結果を定期的に公表しています。

#### コンピュータ不正アクセス対策基準

- ・通商産業省告示第362号 平成8年8月8日制定
- ・通商産業省告示第534号 平成9年9月24日改訂
- ・通商産業省告示第950号 平成12年12月28日改訂
- ・経済産業省告示第3号 平成16年1月5日改訂

#### お問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター

加賀谷 / 花村 / 内山

Tel:03-5978-7527 Fax:03-5978-7518 E-mail:isec-info@ipa.go.jp